

令和4年 福島市職員ひとり1改善・1改革運動「かえる」チャレンジ
1、2、3月分月間賞受賞一覧

No.	項目	件名	取組内容	効果
1	《改善》	救急隊が搬送した熱中症患者の情報共有について	救急隊からの新型コロナと熱中症の報告をaccessにより一元化し、令和3年10月から長寿福祉課と共有開始、さらに令和3年12月からは健康推進課に対し情報を共有開始し、部を超えて全庁的に熱中症予防に寄与する。	<p>1 長寿福祉課 熱中症にて緊急搬送される世帯の実態を把握し、今後の高齢者における熱中症予防対策に活用することができる。(搬送された高齢者宅におけるエアコン設置の状況、熱中症の高齢者の現状を高齢者が参集する「いきいきもりん体操」等を活用し注意喚起ができる。)</p> <p>2 健康推進課 熱中症発生状況の迅速な把握により、地区の民生児童委員協議会や健康教育事業等において、タイムリーに情報発信をするなど効果的に注意喚起、啓発につなげ今後の予防対策の構築に活用することができる。</p> <p>3 消防本部 救急隊の二重入力の手間を省き、効率的に情報管理するとともに、情報共有で熱中症予防に寄与できる。</p>
2	《改善》	市税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の不納欠損処理業務の一括処理	納税課で使用する滞納管理システムにある不納欠損処理を一括で行う機能を利用し、1件ずつの調書作成を省略。	<p>不納欠損処理調書を作成していた時間を全て財産調査、差押、訪問、相談に時間を割けるようになった。</p> <p>時間を減らすことができた。</p> <p>調書作成時のミスが無くなり、またペーパーレスも可能にした。</p>
3	《改善》	信用保証料補助金の交付及び返還(歳入処理)の事務効率化	交付及び返還処理ともに1ヶ月ごとに処理を区切り、まとめて起票・起案する。発議等に添付するリストや通知文は、Excelの入力シートに入力し、関数とマクロ(VBA)を活用した簡単な操作のみで印刷できるようにした。補助交付要件のチェックも関数等を用いて簡素化したほか、財務会計システムの債権者情報取込用データも自動的に作成した。	<p>人的ミスや作業手間、決裁過程における手間を大きく削減できたほか、担当者が不在であっても簡単に作業することができた。また、申請者等(特に補助金返還時)への通知も早くすることができた。なお、補助金等の交付等に関する規則第22条の規定により申請書(同5条)と実績報告(同14条)の手続きを併合して行っている他の業務にも活用を広げられれば、より大きな事務効率化が期待できる。</p>
4	《改善》	窓空き封筒のリサイクル化	窓空き封筒の窓部分を紙素材とし、雑がみでリサイクル出来ることを記載する。	<p>1 可燃ごみの減量</p> <p>2 福島市の環境対策への行動アピール</p>